

14 子守教育の状況

明治40年(1907)

藤岡尋常小学校(現在の藤岡市)に併設された子守学校視察時の復命書。子守学校は家庭の事情で尋常小学校へ満足に通えなかった児童のための学校で、児童数26人中女子は23人でした。子守学校設立の目的は①普通教育の欠点を補う②嬰兒保育の方法を教える③風俗を改良するとあります。毎日の授業は2時間で、正規の教員が空き時間に授業を行いました。多数の児童が意欲的に取り組み、読方科については正教科と比較して「遜色ナキヲ信ズ」と記されています。

群馬県行政文書「小学校 賞罰」(A0181AOM 2459)

吉井尋常小学校 多胡高等小学校
 倉賀野尋常高等小学校 佐野尋常高等小学校
 戸岡尋常高等小学校 渋川町立済南高等小学校
 吉井尋常高等小学校
 藤岡尋常小学校
 子守教育ニ関スル件
 一 創設年月 明治三十五年五月
 一 現在児童数及年齢 現在数二十六人 男十三人 女十三人
 一 年齢最大 男十七才 女十五才 最小 男三才 女二才
 一 現在ノ組別 五組 高等三學年三人 高等二學年十人

尋常四學年二人 左二學年三人 左一學年九人
 一 父兄ノ職業及資産ノ概況
 八百屋二人 米商一人 農人三人 飲食店一人
 按摩一人 籠屋二人 酒店一人 瓦製造職二人
 質屋一人 仕事師一人 肉屋一人 薪炭賣商人
 女醫結婚人 系類賣商人一人 ニシテ 資産ハ中等以下
 ノモノ多ク数ヲ占ム
 一 入學前ノ経歴
 尋常科ニ卒業セルモノ十人
 全第三學年ヲ修了セルモノ一人

全第二學年ヲ修了セルモノ四人
 未就學ノモノ 十一人
 一 父母ノ存否 父母共ニ生存ノモノ二十二人
 父ナシノモノ二人 継父ノモノ一人 孤親ナシノモノ一人
 一通學スル者ノ區別 自宅ヨリ通學スル者九人 奉公先ヨリ通學スルモノ十七人
 一 教授ノ學科 修身、國語、算術、唱歌、簡易な算術法、裁縫、編物
 一 教授ノ季節及毎日ノ教授時間 教授ノ季節ハ正科ト異ナルヲナシ 毎日ノ教授時間ハ二時間トス

前ノミトシテ柳井訓導專ラ之ヲ教授ノ任ニ當レリ同
 三十九年三月第三回卒業生五名ヲ出ス同年四月柳井訓
 導ヲ轉任ニツキ倉林訓導之ニ代レリ而シテ堀田
 准訓導書方ヲ受持テ笠原專科訓導裁縫ヲ受
 持テ以テ現今ニ至レリ
 一成績及効果
 当校ハ左ノ目的ヲ以テ子守教育ニ從事シツイアリ
 一普通教育ノ缺點ヲ補フ 二嬰兒保育ノ方法ヲ教フ
 三風俗ヲ改良シ進ス
 一普通教育ノ缺點ヲ補フ

此ノ項ハ教授者ノ常ニ焦心セル所ナリ而モ學力程度
 ノ區々ナル嬰兒ノ性癖ノ異ナル或ハ入退學ノ頻繁
 ナル等ニヨリ個人的教授ノ必要ヨリテ到底其ノ教
 授ノ効果ハ正教科ニ比シテ遜色ナキヲ免レズト雖
 彼等ノ多數が其ノ文盲ヨリ生ズル不利益ヲ自
 覺セルニ依リ凡ソノ學科ニ對シ慾望ヲ有セル以
 テ案外ニ其ノ成績ノ良好ナルヲ觀ル就中讀
 方科ノ如キハ正教科ニ比シテ多クノ遜色ナキヲ信ズ
 二嬰兒保育ノ方法ヲ教フ
 嬰兒ノ精神教育ノ上ニ於テ子守ヨリ受得ル感化ガ

如何ニ莫大ナルベキカハ敢テ多言ヲ俟タズ當校ハ下田
 歌子女士ノ著ナル嬰兒教養及信濃教育會
 編纂スル子守教育法ヲ參考トシテ日常嬰兒ヲ
 取扱フ上ニテ最必要適切ナリト思惟セルモノ例
 (ハ)嬰兒ノ取扱ニ方、嬰兒ノ泣クコトニ對スル心得
 見ノ管養ニ就キテ心得、嬰兒ノ衣服ニ就キテノ
 注意、其ノ五官器ニ對スル心得、嬰兒ト子守トノ
 關係、嬰兒ノ精神教育ニ就キテ或ハ講演的、
 或ハ偶発ノ事項ヲ用ケテ常ニ平易ニ教ヘツ
 アリ其ノ成績及効果ニ就キテハ等シク世ノ認めル

所ニシテ到底一般普通ナル子守ノ在テ及テ所ニテナルリ
 三風俗ヲ改良ス
 彼等ノ中文育ノ輩ト雖日々學校ニ出入スルノ結果
 所謂門前ノ小僧習ハヌ經ヲ讀ムノ理諺ニ侍ラズ
 子守ノ卑レキ遊ビ方又ハ種々ナル惡習惡弊ニ
 遠カリテ漸次善化セラレツアリ殊ニ普通子守ノ
 歌ハ賤レバテ厭フベキ其風俗ヲ紊乱シ人情野
 卑ナラシムル多ナルニ今ヤ學校ニ於テ授ケル唱
 歌ハ独リ通學ノ子守ノミナラズ一般子守ノ間ニ傳
 唱スルに至リ全ク作謠ヲ廢倒スルノ傾向ヲ呈セル